

(別紙4(2))

事業所名:グループホーム岡崎若松の家

目標達成計画

作成日 : 令和4年 11月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	60	コロナ禍という事もあり、利用者様が戸外に行きたいところへ出かけることは、ほとんどなかった。	コロナの症化のリスクも低くなり、マスクをした上での外出を増やしていきたい。3密を避けた形での外食なども再開できるようにする。	・利用者様からの外出を伴う要望への対応。 ・ご家族との喫茶、外食などの再開。 ・お花見など戸外へ出る行事の再開。	3ヶ月
2	64	60番と同様に、コロナ禍であるために、馴染みの人や地域の人々が訪ねてくる機会もほとんどなくなってしまった。	コロナ以前、歌や踊りのボランティアや祭りで屋台が施設に来てくれていた時のように、外部の人たちとの関わりを増やしていきたい。	・ボランティア団体への案内状の送付。 ・総代さんを通しての、町内会への呼びかけ。 ・地域活動への参加の再開。 ・控えて頂いていた家族や知人との面会を再開する。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。